

# 県域統合 J A 速報 第1号

## 新 J A グループ 徳島研究会および

## 専門部会主要協議経過

実施日	主な取り組み事項
H28. 2. 16	『第37回 J A 徳島大会』にて、J A 環境の変化等を踏まえた自己改革の実践に向け J A グループ 徳島の新しい体制を協議する研究会を発足することを決議。
H28. 5. 16	『新 J A グループ 徳島研究会』発足。
H28. 6. 3	平成31年4月に「県域統合 J A」発足を目指すことを決議。組織部会、営農経済部会、信用部会、共済部会の4つの専門部会を設置。
H28. 7. 14	新 J A グループ 徳島研究会で既に県域統合を実現している J A 香川県に赴き、合併の経過や課題等についての視察研修を実施。
H28. 8. 26	新 J A グループ 徳島研究会組織部会にて、県内 J A 基礎調査の実施について承認される。
H28. 9. 15	第4回 J A グループ 徳島研究会において、県域統合 J A 実現に向けた役員説明用資料の原案が承認され、各 J A の理事会および役員に対し説明を依頼。
H28. 10. 3	10月より、7 J A および3連合会より職員12名が統合 J A 推進室へ出向し、統合 J A 実現に向けた組織づくりの強化を図る
H28. 10. 17	新 J A グループ 徳島研究会組織部会において、組織運営の方向性が協議され、部会案を決定。 第5回新 J A グループ 徳島研究会において、組織運営の方向性が承認される。
H28. 10. 24	新 J A グループ 徳島研究会営農経済部会において、広域運営によるメリット創出に向けたグループ討議を実施。
H28. 11. 11	新 J A グループ 徳島研究会信用部会および共済部会において、基礎調査とりまとめ結果を踏まえた各事業の目指す方向性についての協議を実施。

※ 協議回数（11月15日現在）

■新 J A グループ 徳島研究会：5回 ■組織部会：5回 ■営農経済部会：3回 ■信用部会：2回 ■共済部会：2回

## 今後のスケジュール

実施日（予定）	取り組み事項
H29. 2月～3月	組合員説明会の実施（地域ごとに順次開催）
H29. 7月	J A グループ 徳島統合推進協議会（仮称）への組織移行

# 各専門部会の取り組み状況

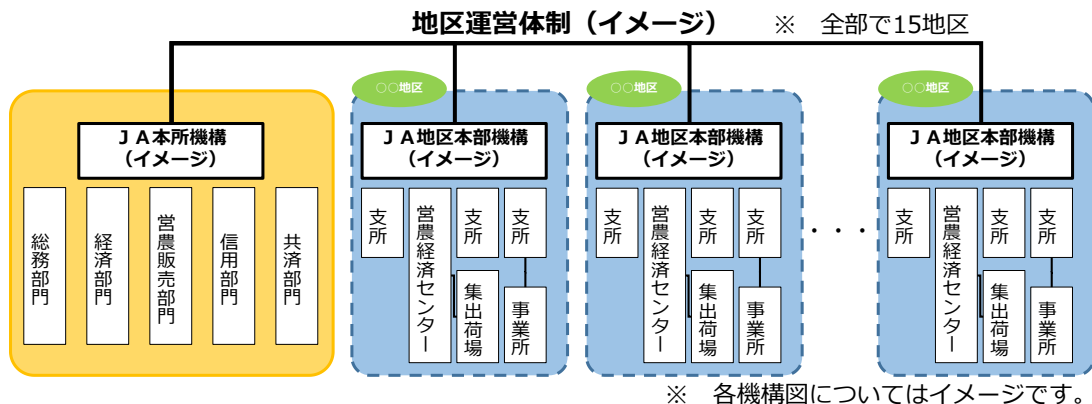
## 組織部会

組織部会では、経営の健全性を確保し「県域統合」を実現するため、次のような県域統合にかかる基本方針や方向性をあらゆる角度から研究・精査しています。

### (1) 統合JAの組織運営の方向性

JAグループ徳島全域の経営資源の集約・再配置により、組合員の営農や地域のくらしの活性化を行い、最大限のメリットを創出することを前提に研究を進めています。

**<主要な研究事項>** 地区運営体制について、経営管理方法について、組織運営体制について、組合員の意志反映の仕組みについて



### (2) 県域統合にかかる基本事項について

定款の基本となる事項や、地区本部ならびに支店の運営にかかる組合員・利用者の意志反映等の仕組みづくりについて研究を進めています。

**<主要な研究事項>** 合併の方法について、組合財産の引継ぎについて、組合員資格について、総会（総代会）について 等

## 営農経済部会

営農経済部会では、県域統合による事業メリットを出すために次のような項目について研究を進めています。

### 営農事業

- ・ 県域の営農振興計画策定について
- ・ 営農指導員の技術向上、巡回指導体制の強化について
- ・ 県域での農作業人員支援（お助け隊）の展開について

### 販売事業

- ・ 農産物の有利販売（直販機能の強化等）について
- ・ 輸送コスト低減に向けた集出荷体制の構築について

### 購買事業

- ・ 一元仕入によるスケールメリット創出について
- ・ 効率的な配送体制（農家戸配送等）の構築について

### 県域での農作業人員支援 （展開イメージ）



手間不足の解消  
事業拡大の支援

労働力の  
供給

JA農作業お助けセンター

- ・ 市町村や農業支援センターとの連携によるお助け人材の確保
- ・ 手間を求める農家の登録
- ・ お助け人材の登録 等